

## 政務調査による視察研修報告書

報告者 生田健児  
研修先 ドームやきものワールド  
研修日時 平成 26 年 11 月 23 日 13 : 00 ~ 24 日 13 : 00  
場所 名古屋市東区大幸南一丁目 1 番 1 号 ナゴヤドーム  
参加者 生田健児

### 今回の研修の目的

- ・ 市の補助金を使用した PR 活動の調査。
- ・ 移動式足湯など市自体の嬉野市 PR 活動の調査。
- ・ 日本各地の陶磁器産地の販売及び PR 方法、伝統工芸に対する考え方の調査。

### 内容

11 月 23 日 13 : 00 ~ うれしのブースの調査

喫茶うれしのブース 総合プロデューサー 朝重 利文 氏

参加企業	(有)辻与製陶所	石丸陶芸(株)	白山陶器株式会社
	中島緑茶園	三根製茶工場	村岡屋

15 : 00 ~ 主催者との意見交換

株式会社	テレビ愛知企画イベント部次長	加藤 稔 氏
中日新聞事業局社会事業部	丹羽 弘行 氏	政野 弘幸 氏

11 月 24 日 10 : 00 ~ 13 : 00 他産地ブースの調査

### 視察研修の感想

ドームやきものワールド 2014 は 11 月 19 日 ~ 25 日までの期間で過去最高の来場者 18 万 1504 人であった。私が訪れた時も入場まで 200m ほど並び、会場内もまっすぐ進むのが難しいほどの盛況ぶりであった。来場者は中高年の女性グループや夫婦が多かったが幅広い年齢層の方が来場していた。

うれしのブースには焼き物やお茶の販売、また嬉野湯豆腐や嬉野茶、お菓子を肥前吉田焼の器で楽しめる喫茶スペースがあり、行列ができ売り切れ続出であったそうだ。市より移動式足湯が持ち込まれており大変好評であった。嬉野市観光関連パンフレットも多数置かれ手にする人も多く、ブース自体もお洒落なデザインであり嬉野市の PR としても非常に良かった。

当初は窯元組合で合同で出店する予定であったが、最終的に肥前吉田焼からは辻与製陶所

だけが出すようになったので、窯元組合に対しての補助金はほとんど利用していないそうである。

うれしのブースは焼き物は3社中2社が波佐見の業者であるし、またブース内レジ等の店員も白山陶器の社員であった。喫茶スペースも調理は愛知県の業者、材料は嬉野より持ち込み、ウェイトレスは名古屋周辺からのアルバイトで、プロデューサーの朝重氏も有田町の人、嬉野市からの人は非常に少ないのは残念である。

他の陶磁器産地ブースでは売れている産地は店員も若い方が多く、タブレット端末を利用したクレジットカード決済や商品紹介のためのムービーを制作し流すなど様々なアイデアが見れた。また自治体、商工会、生産者が一体となり頑張っている産地のブースは産地自体のPR、商品販売ともに力が入っており嬉野としても参考にしたい。

主催のテレビ愛知、中日新聞の方との意見交換では

- ・民間業者まかせでは物販ばかりに注力してしまうため市のPRをするならば自治体側としてももっと様々な面で支援すべき。
- ・嬉野温泉は中部地方ではまだまだマイナーなので、こういったイベントで効率よくPRしていったらどうか。
- ・温泉湯どうふは商品力が非常に高いものであるから、さらに売り出していったらどうか。

などの意見を頂いた。

うれしのブースは他の産地と違い、お茶、温泉、焼き物など組み合わせて売れる強みがある。参加企業の方からは嬉野市内業者でこういったイベントに出店したい方を集め、盛り上げていきたいとの事であった。イベント参加は嬉野市のPRとしても有効であるし行政側も色々な面で支援をしていくべきではないだろうか。